









## 春季検定試験に向け準備を整える 第5回教師検定委員会

第37総会期5回教師検定委員会が2012年1月23日(月)、24日(火)の2日間、教団4階会議室において行われた。出席は委員7名全員と担当幹事、担当職員各1名。東野尚志委員長



春季検定試験に備えての実務に当たる

はヨハネ福音書11・25と27を朗読し、「わたしは復活であり、命である」との主の御言葉に基づいて奨励をした後、開会の祈りを献じた。2012年春季教師検定試験(学科試験2月28日

(火)、面接試験2月29日(水)と3月1日(木)東京会場を控えての委員会であり、議事の内容は提出された積義・説教、論文の採点結果の確認と学科試験問題の作成である。

今回願書を受け付けた受験志願者は補教師受験者が58名(Cコース12名、Bコース14名、Aコース32名)、正教師受験者が9名であった。各々の受験資格について審査し、全受験者に対して受験票を送付することを可決した。

教師検定規則第4条3号(学部を経ないで大学院入学した神学校卒業予定者に関する規定)に基づく試験をこの度より実施する。第4回委員会(2011年11

1月23日と24日、第37総会期第4回社会委員会が開催された。新保能宏委員の司式により礼拝をもって開会した。23日は、業務報告、常議員会報告、東日本大震災関連の諸報告を、大三島義孝幹事より添付資料に基づいて受けた。続いて、原田史郎委員より、日本キリスト教

社会事業同盟2011年度第3回理事会議案書に基づいて報告を受け、委員一同承認した。その他の報告として、第3回九条アジア宗教者会議(2011年10月5日〜7日 沖縄開催)に出席した芳澤信委員より報告を受けた。協議事項として、37総会期全国社会委員長会議(2

012年7月23日と24日開催)に関する件が協議された。主題を「3・11 日本基督教団 祈り」とし、被災地で支援活動をしている教団教師の方々に発題を依頼することとした。その他、プログラムの詳細について確認をし、担当者を決定した。社会委員会は、東日本大

震災の初期対応として、被災地の訪問、緊急支援として募金を行った。その後、東日本大震災救援対策本部が立ち上げられ、募金及び諸活動は一本化された。これにともなう、社会委員会としては、救援対策本部の指示を受けて活動することとし、通常業務を滞りなく遂行していくことを確認した。

24日は、各教区から寄せられた社会福祉施設援助金の推薦書に記載されている、活動内容、経済状況、推薦理由、会計報告を、一施設ごとに確認し、それぞれの活動に思いを寄せて申請のあった5教区5施設に援助することを決定した。各教区に送金し、各施設に届けてもらうこととした。

## 全国社会委員長会議の主題を決定 第4回社会委員会

局より報告された。教師転入(補教師)志願者が1名あり、教区推薦などの資料に基づいて審査した結果、転入試験を行うことを可決した。

予定通り提出物の採点結果を確認し、再提出に関する要綱を決定した(提出締切2月9日)。また、全学

科試験問題について検討し、それぞれを決定した。さらに、試験実施に当たって具体的な委員の役割分担を決定した。

受検費用援助申請は11件あり、援助合計163,800円を決定した。

次回委員会(第6回)は3月1日(木) 15時〜2日(金) 12時に開催の予定。(渡部和使報)

手引き」の改訂作業を行ったが、2011年12月1日に発行の運びとなり、6神学校、17教区に1冊ずつ送付されたことが報告された。

次回委員会(第6回)は3月1日(木) 15時〜2日(金) 12時に開催の予定。(渡部和使報)

武間謙太郎氏(隠退教師) 12年1月11日逝去、90歳。コルカタ(旧カルカタ・インド)に生まれる。'52年エール大学神学部を卒業、'54年より'96年まで(71年から'76年まで在外)中目黒教会を牧会し、隠退した。遺族は妻・武間喜美エルシ

## 「伝道推進室」設置提言へ 第5回伝道方策検討委員会



ひたすらに、伝道力の強化を願いつつ

1月23日(月)と24日(火)、教団A会議室にて、第37総会期第5回伝道方策検討委員会が開催された。

今回の委員会では、主に常議員会への提言を取りまとめる作業を行った。最も重要な提言は「伝道推進室」設置である。教団が伝道体制を整えるため、伝道委員会のもとに伝道推進室を設けて具体的な伝道の取り組みをなす。伝道のための予算を持ち、更に長期的な研究や計画を作成し実施できる、権限と責任、そして継続性をもつ部署の設置である。

次に「教師の人事の強化」である。教勢分析をし、今後地域の中核を担う教会の教師人事が大切であるとの認識に至った。教団四役の

もと相談室を設け、積極的人事を進めることを目指す。次に「教会関係幼稚園・保育園の支援体制構築」である。幼保一体化をはじめ様々な課題に直面する教会伝道命令への応答となるよう、教団として全国信徒会の再興と、各地で信徒会が生まれるよう働きかける。

また、教師の養成と再生である。教師候補者の養成、教師検定、教師の継続教育、神学校の認可の在り方などこの提言は多岐にわたる。本格的な教師養成や教師検定の検討のための会議、あるいは特別委員会を作る。

この他に、「現在の小委員会の活動内容と洗い直しと活性化」である。これらをまとめ常議員会へ提言することにした。この他に、伊藤瑞男教区活動連帯金検討委員長が陪席し、検討中の「伝道資金機構」の資金の使途の一つとして、「伝道推進室」の伝道資金を考えている旨説明があり、両委員会共通の理解を確認した。

尚、「幼保一体化と教会幼稚園・保育園のこれから」を主題にした研修会を今夏行うことを常議員会に提案することにした。(小林克哉報)

担任教師) 12年1月6日逝去、89歳。岡山県に生まれる。'45年日本女子神学校を卒業、'47年倉敷西教会に赴任、'52年より総社教会を牧会した。遺族は弟・尾熊俊夫さん。川上朝恵氏(隠退教師)

### 消息

尾熊芳子氏(総社教会主任担任教師) 12年1月6日逝去、89歳。岡山県に生まれる。'45年日本女子神学校を卒業、'47年倉敷西教会に赴任、'52年より総社教会を牧会した。遺族は弟・尾熊俊夫さん。川上朝恵氏(隠退教師)



12年1月11日逝去、80歳。東京都に生まれる。'83年日本聖書神学校を卒業、'09年まで大久保教会を牧会し、隠退した。遺族は娘・川上善子さん(大久保教会主任担任教師)。

### 事務局報

正教師登録 佐藤 進 (2011.12.5受按) 小椋実央 (2011.12.6受按) 五十嵐悦子、五十嵐高博、大澤正芳、大澤みずき、大住共平、久下倫生、竹田常司、筒井省行、村上和範、米山恭平、矢吹大吾 (2011.12.11受按)

### 公募

台湾基督長老教会での宣教師体験プログラムアライア台湾(6/27〜7/14) ◎内容 現地各教会の子供青年向け夏期学校に参加する、要英語力、35才まで ◎旅費補助 教団よりの半額 ◎応募期限 4月13日 (必着) 書類選考あり ◎問合先 台湾協約委員会(03-3202-10544)





大月新生教会(東海教区山梨分区)



主のくすしき御導きにより2008年7月より山梨県の大月新生教会を担任することとなりました。

①桑田秀延学長

「君たちはやがて教会に遣わされ説教をするようになる。その準備をする時に、自分自身、御言葉に打たれ『わたしたちの心は燃えていたではないか』(ルカ24:32)という経験をせずして、どうして会衆に御言葉を伝えることが出来るよいか。」

この言葉は、現在でも説教を準備する時、いつもわたしの胸に迫ってくる言葉です。

②北森嘉蔵先生

真に「人を生かし、伝道(行動)へと駆り立てる」のは、「説教」(講演ではなく)御言葉において他にない、これが、わたしの確信です。

《出版局・新刊ニュース》

『信徒の友』別刊

その時、教会は——3・11後を生きる

＊3月7日刊行 ＊信徒の友編集部編 ＊税込1,680円 売上の一部を「東日本大震災救援募金」へ寄付致します。被災地の教会・信徒・牧師は、東日本大震災をとのよう迎えその中を生き抜いたのか！

- ◆写真記録で見る3・11とその後
- ◆「神さま!」思わず祈った生々しい証言の数々
- ◆読者アンケート「3・11後を生きる私たちの信仰」集計

報告

第 49 回 西日本五教区合同  
宣教研究協議会



柴田もゆる西中国教区総会議長からの応答と参加者

1月30日から31日にかけて、福山東教会を会場に第49回西日本五教区合同宣教研究協議会が行われた。今回は、西中国教区の担当で、

1月30日から31日にかけて、福山東教会を会場に第49回西日本五教区合同宣教研究協議会が行われた。今回は、西中国教区の担当で、

1月30日から31日にかけて、福山東教会を会場に第49回西日本五教区合同宣教研究協議会が行われた。今回は、西中国教区の担当で、

1月30日から31日にかけて、福山東教会を会場に第49回西日本五教区合同宣教研究協議会が行われた。今回は、西中国教区の担当で、

1月30日から31日にかけて、福山東教会を会場に第49回西日本五教区合同宣教研究協議会が行われた。今回は、西中国教区の担当で、



森 祐理さん

あなたのために歌う  
ものへ



クリスチャン・アーティスト。単立ニューライフキリスト教会員。

教会やキリスト教学校、各種団体のコンサートで、祐理さんに出会ったことのある人も多いのではないかと。日本基督教団の諸教会・集会にも数多く招かれ奉仕されている。

小さい頃から歌うことが大好きだった祐理さんは、大学でも音楽を専攻し、やがてNHKテレビ歌のお姉さんやミュージカルなどで活躍するようになった。そのような折、突然に声が出なくなる経験をする。回復を求めて祈る中、主を証しする働きへの神からの招きを聞いた。

そして「もし、もう一度歌うことができのなら、あなたのために歌う者となってください」との祈りへ導かれた。

そして1年前の3月11日、台湾滞在中にテレビから流れる津波の映像に涙しつつ祈った。帰国後は避難所慰問へ、さらに日

本年8月21日には「教会中高生・青年大会2012」(教団教育委員会・伝道方策検討委員会後援)の中で主を証しする。台湾・韓国の青年も参加する同集会で、世界伝道への召命を共に祈りながら。

東北教区エマオのセンターから仙台の七郷地区へのボランティアを派遣しつつけている。非常に保守的な地域で、外部から入ることは難しい、もちろん宗教はとんでない。

この地区の代表者の菅原忠夫さんは、荒浜地区の少年野球チームの会長でもある。

昨年クリスマス、エマオで300個のプレゼントを作って、野球チームの少年たちのためにクリスマス会を行った。

わたしたしは腹話術でクリスマスの話をした。

キリストさんとお墓まで

この地域の代表者の挨拶が心に沁みた。「わたしはキリストさんではないけれど、キリストさんとは墓に行くまで付き合いたい。」

エマオの活動が、このように地域に受け入れられていることを知り、改めて、エマオの働きに感謝した。

それと共に、この菅原さんの信頼に依って行く責任を痛感した。「最後は教団、最後まで教団」と言える活動を行きたいと決意を新たにしている。

(教団総会議長 石橋秀雄)